

## Aさんの入院体験の話

入院は46歳くらいの時に2年ほど。当時は分からなかったけれど医療保護入院でした。1年ほど通院していた病院から入院するように言われたので言われるがままに入院をしました。自分ではなぜ入院をしなければいけなかったのかわからないままでした。初めての入院でどんなところに入院をするのかわからず、いわゆる普通の病院に入院する気持ちで病院に行ったんです。実際に入院をするとドアに鍵をかけられたり、トイレに壁がないなど刑務所に入れられたのかと思いショックを受けました。食事の時は一斉に何か所に集まり雑然としたところでそそくさと食べました。食事については特に不満はなかったと思います。ただ、人の多さに啞然としたのを覚えています。

入院から2か月ほどした時に母親が心臓発作で亡くなりました。2泊3日の外出が許可されて葬儀には参列することができたのは恵まれていたのだと思います。でも病院に戻った時に病院の環境や雰囲気に対する拒否感と母親の死のショックもあり、「もう私を殺してください」と訴えました。すると「これはあかん」と閉鎖病棟に戻され、薬を注射されました。そこからの1~2か月ほどの記憶が残っていないんです。その後もふわふわした感じで入院時の記憶は曖昧なままです。記憶のない数か月の間に母が亡くなる前に持ってきてくれた衣類や下着など私の生活用品が無くなっており、いくら探しても出てきませんでした。自分自身の頭が朦朧としていたこともあり、自分の記憶違いかと思うしか仕方がありませんでした。

病棟には長く入院をしている主のような存在がいて、その人に逆らえない空気がありました。逆らうとどうなるか不安もあり何かあっても何も言えませんでした。看護師さんたちもその人たちの行動については見て見ぬ振りをしていました。年老いた人がお漏らしをしてもそのままでしたし、人が足りていなかったのかもしれない。

退院はしたかったけれどなかなかできませんでした。理由は分からないけれど、母が亡くなり自宅に誰もいなかったこともあったのかなあ。それが入院から2年ほど経った時にこれも理由が分からないのですが、外泊訓練の話出てきて何度か体験し退院となりました。入院していた2年間は治療と言っても何をするわけでもなく薬を飲むだけだったので、自分としてはなぜ入院をしているのか最後まで分からずじまいでした。自分にとっては空白の2年でした。

その後、随分経ってからですが体調を崩して入院をすることがありました。その際にも入院時に荷物を全部出してチェックされて、やっぱり刑務所に入ったような気分でした。もう入院はしたくないですね。

もし入院をするのなら、心の病で治療をするために入るのだから心が休まるようにやさしい気持ちで受け止めて欲しいです。

もちろん入院中に親切にしてくれた看護師さんもいたんですよ。その方の名前は今でも覚えています。